

底生生物調査（定量採集）結果

1. 調査実施日 平成 23 年度の行徳湿地導流堤改修工事着手前の大潮である、2011 年 6 月 17 日の干潮時に 1 回実施した。（アナジャコ類巣穴調査も同日 1 回実施）
2. 調査地点の状況

調査地点は、「UFO 島」と護岸の間に形成された水路に位置している。水深は満潮時でも 1m 前後と比較的浅く、底質は泥の場所が多い。底生生物・底質調査時(2011 年 6 月 17 日)においては、干潮時に調査を実施したものの、水路全体が干出することはなく、干潟は「UFO 島」および護岸の岸際に、途切れ途切れに現れる程度であった。



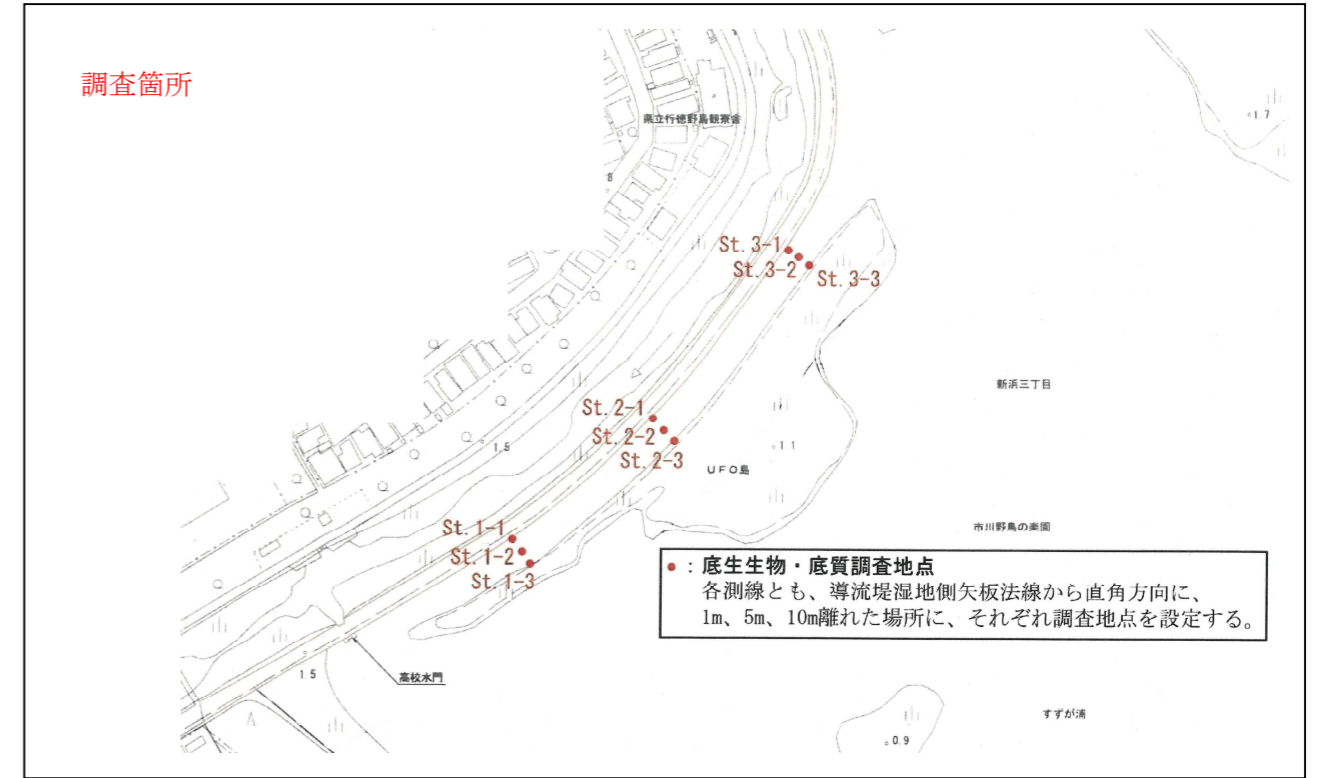
底生生物・底質調査 調査地点の状況

3. 調査方法

1 調査地点当たり、内径 10cm の塩化ビニル製のパイプを深さ 30cm 以上打ち込んだ後引き上げ、上から 30cm までの円柱状の泥を 4 回 (314cm²) 採泥した。採取した泥は、目合い 0.5mm の篩でふるい、篩上に残った試料を 5% 中性ホルマリン溶液で固定した後、室内に持ち帰り、種の同定及び個体数、湿重量の測定を行った。



底生生物調査 定量採集の状況



4. 調査結果

定量採集による確認種一覧を表 3-1 に示す。確認種は、内湾の浅海域や、泥質～砂泥質干潟に生息する種で占められた。多く確認された種は、カワグチツボ、Hediste 属(ゴカイ科)、Cossura 属(ヒトエラゴカイ科)、Heteromastus 属(イトゴカイ科)などであった。

表 3-1 定量採集による確認種一覧

No.	門	綱	目	科	和名	学名	St.1-1		St.1-2		St.1-3		St.2-1		St.2-2		St.2-3		St.3-1		St.3-2		St.3-3		備考			
							個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量				
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	フトヘナタリ科	カワアイガイ	<i>Cerithideopsis djadjariensis</i>							1	0.475					1	0.198	3	1.784						
2				カワグチツボ科	カワグチツボ	<i>Iravadia elegantula</i>	11	0.048							15	0.091			11	0.036	1+		6	0.032	7	0.017		
3				ミズゴマツボ科	ウミゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>	7	0.021							4	0.005	2	0.008	4	0.013	6	0.02	1+		5	0.015		
4		二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>								1	7.944	1	0.501	1	18.088	2	39.492	4	42.531	3	47.972			
5					ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>			1	0.016	1	18.982																
6					アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>																		1	0.379	1	4.814	
7					ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>				1	0.133															
8	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	チロリ科	チロリ	<i>Glycera nicobarica</i>			1	0.027																		
9				カギゴカイ科	ハナオカカギゴカイ	<i>Sigambra hanaokai</i>																						
10				ゴカイ科	Hediste属	Hediste sp.	26	0.178	6	0.043	23	0.225	8	0.114	7	0.021	7	0.128	6	0.072	18	0.132	11	0.139				
11			イソメ目	ギボシイソメ科	カタマガリギボシイソメ	<i>Scoletoma longifolia</i>				1	0.004																	
12				スピオ目	スピオ科	ヒガタスピオ	<i>Polydora cf. cornuta</i>				1+																	
13			ミズヒキゴカイ科	ミズヒキゴカイ科	Prionospio属	<i>Prionospio sp.</i>	1+		1+							1+											鰓が破損	
14					ホソエリタテスピオ	<i>Streblospio benedicti japonica</i>				1+																		
15					ミズヒキゴカイ科	ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia cf. comosa</i>	3	0.067	2	0.025	1	0.004							1+				3	0.005			
16			ヒトエラゴカイ科	ヒトエラゴカイ科	ヒトエラゴカイ科	Cossura属	<i>Cossura sp.</i>	174	0.046	83	0.016	53	0.007	2+	87	0.019	281	0.11							3+		鰓、副触手が破損した若い個体 体後半部が破損	
17					イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella属	<i>Capitella sp.</i>																				
18							Heteromastus属	<i>Heteromastus sp.</i>	7	0.019	3+		9	0.008	6	0.017	7	0.012						2+	3	0.011	3	0.008
19					ミミズ綱	-	ミミズ綱	Oligochaeta								19+										4+	29+	
20			節足動物門	軟甲綱	タナイス目	タナイス科	Sinobius属	<i>Sinobius sp.</i>					1+														キスイタナイス <i>S. stanfordi</i> に似る	
21					ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	1+																			脚が破損
22							Grandidierella属	<i>Grandidierella sp.</i>	1+																			
23					テナガエビ科	Palaemon属	<i>Palaemon sp.</i>							1	0.028													
24					アナジャコ科	アナジャコ	<i>Upogebia major</i>					2	0.156											1	0.08	1	0.099	
25	腕足動物門	箒虫綱	-	-	Phoronis属	<i>Phoronis sp.</i>	1+		2+		1+																	
種数							10	-	11	-	11	-	11	-	7	-	9	-	10	-	8	-	7	-				
個体数・湿重量(g/0.0314m ²)							235	0.379	171	0.149	96	19.519	59	8.841	106	0.561	330	18.573	27	41.827	65	47.525	33	48.25				

注1) 種名および配列は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成22年度生物リスト」に従い、「東邦大学理学部東京湾生態系研究センターHP: 東京湾の動物たち(<http://marine1.bio.sci.toho-u.ac.jp/tokyobay/ikimono/index.html>)」などで補足した。
注2) 湿重量の「+」は、0.001g未満を表す。